市指定史跡

近藤勇・土方歳三顕彰碑

金剛寺不動尊の北側には、近藤勇、土方歳三の功績を讃えた顕彰の碑がある。調布に生まれた近藤勇と、日野市石田に生まれた土方歳三は、ともに新選組の総長・副長として活躍し、幕末の動乱期に若くして命を落とした。碑は、金剛寺住職賢雅大僧正を中心に明治 9 年（1876 年）より準備が始められ、明治 21 年（1888 年）7 月に建立された。高さ 227cm、幅 106cm の碑には、両名の事蹟が漢文で記されている。石材は甲州酒折石を用いている。篆額の筆者は、元会津藩主の松平容保、文の撰者は、元仙台藩の儒者大磐渓、筆者は、元幕府典医頭・医学所長松本順である。

（『日野市の文化財』１９９４年３月３１日発行より）

昭和 36 年 10 月 1 日指定

※無断転載・使用及び別の媒体に収録して再配布する等禁止。